

記 入 日 2014年 01月 17日

1. 概 要

実践団体名	飯田市赤十字奉仕団		
連絡先	※担当者：後藤武志 0265-22-4511 内線 2437		
プランタイトル	郷土にまつわる災害伝承紙芝居の作成と活用		
プランの対象者※1	中学生、地域住民、社 会人・一般	対象とする 災害種別※2	災害全般

※1 別紙「記入上の留意点」の1. 項目から選択し、記入してください。(複数選択可)

※2 別紙「記入上の留意点」の2. 項目から1つ選択し、記入してください。

【プランの目的・ここがポイント！】

これまで当地域を襲った災害について、自分たちが資料収集や聞き取り調査をはじめとした基礎調査を行いその災害史実を学びながら、その内容を多くの人々に周知し、かつ伝承していくための紙芝居を制作し上演することを目的としている。

紙芝居の制作や上演を通じて、その災害伝承に込められた思いを多くの人に伝え、被災地の復興や子どもたちが地域で生きていくための糧となるようなものとした。

【プランの概要】

- ・昭和22年4月20日発生した飯田大火と中学生によって作られたりんご並木を題材とした紙芝居及び紙芝居DVDを制作する。
- ・制作した紙芝居を、市内及び東北の被災地などで上演し、災害伝承活動を行いながら交流を深める。

【期待される効果・ここがおすすめ！】

- ・飯田大火の史実が多くの人に正しく後世に渡り伝承される。
- ・りんご並木の精神が広く多くの人々に伝わり、災害復興に対して主体的に考える人が多くなる。
- ・紙芝居をDVD化することによって、活用の仕方や伝承の幅が大きく広がる。
- ・DVDは学校等での防災教育教材として、飯田市への視察者用資料としても活用できる。
- ・復興やまちづくりの精神を学ぶ教材としても活用できる。
- ・道徳教育の教材としても有益。

2. プランの年間活動記録 (2013 年)

	プランの 立案と調整	準備活動	実践活動
4 月	飯田東中学校との 調整 (制作報告)		史実調査 (図書館での文献調査) 聞き取り調査 (4 日間)
5 月			脚本づくり (自宅作業) 5/1 台本の製本作業
6 月			下絵作成 (延べ 6 日間+自宅作業)
7 月			描画作業 (延べ 5 日間+自宅作業)
8 月	飯田東中学校、東北被 災地への公演依頼		描画作業 (延べ 8 日間+自宅作業) BGM 選定、配役決定
9 月		収録前練習	9/11 DVD 仮収録
10 月	公演日程調整	公演前練習	10/9 飯田東中学校全校朝会での公演 10/20-21 福島県被災地公演 (3 箇所)
11 月			
12 月	飯田東中学校と DVD 収録に向けた依頼	公演前練習	12/7 飯田市安全大会での上演
1 月		公演前練習	1/14-15 DVD 本収録
2 月			2/中旬 DVD の配布 (市内全小中学校)
3 月			

3. 実践したプランの内容と成果

【実践プログラム番号： 01】※3

タイトル	紙芝居「飯田大火とりんご並木」の制作
実施月日（曜日）	4月～9月
実施場所	飯田市上郷公民館
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当者 氏 名：後藤武志 所属・役職等：飯田市危機管理・交通安全対策室防災係長
所要時間または「コマ数×単位時間」	全体作業：史実調査2日、聞き取り調査4日、下絵制作6日、描画13日、その他作業3日 計延べ28日間＋自宅作業
プログラムのカテゴリ、形式※4	17 その他（災害史実の調査・学習、紙芝居制作作業）
活動目的※5	10 その他（史実の習得、伝承媒体の制作）
達成目標	紙芝居の完成
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	史実調査→当時の経験者への聞き取り調査→脚本作り→脚本を元にした下絵づくり→描画→BGM 選定→完成
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	○大火・復興計画・りんご並木に関する資料 ○厚紙、岩彩絵具、絵筆、下絵書き用画用紙、台本用上質紙
参加人数	7人（紙芝居班員）
経費の総額・内訳概要	55,000円 （絵具代等消耗品 30,000円、聞き取り謝礼 5人分 25,000円）
成果と課題	【成果】 ・経験した人々が“そうだった！”と言ってもらえる作品となった。 ・約20分程度になんとかまとめることができた。 ・自分たちがりんご並木誕生の経緯等の勉強になった。 【課題】 ・りんご並木誕生の秘話となっている部分（誰が発案したか）については本人の意向もあり記述できなかった。
成果物	紙芝居

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： 02】※3

タイトル	紙芝居「飯田大火とりんご並木」のDVD化
実施月日（曜日）	9月から2月
実施場所	飯田市上郷公民館、飯田東中学校
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当者 氏 名：後藤武志 所属・役職等：飯田市危機管理・交通安全対策室防災係長
所要時間または「コマ数×単位時間」	収録に伴う練習：延べ6日、収録：仮収録1日、本収録2日 DVDダビング・印刷作業：3日
プログラムのカテゴリ、形式※4	17 その他（災害史実の調査・学習、紙芝居制作作業）
活動目的※5	10 その他（史実の習得、伝承媒体の制作）
達成目標	DVDの制作（制作枚数300枚）
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	紙芝居（絵）の写真撮影→パワーポイント化 収録前練習→収録 →静止画と音声の統合（ビデオ化）→マスターDVD制作 →マスターDVDのダビング作業 ※アンダーラインのみ業者委託
準備、使用したもの・人材・道具、材料等	○ミキサー、マイク、CDプレイヤー、SDカード ○DVD、パソコン、インクジェットプリンター
参加人数	11人（紙芝居班7人、飯田東中学校人形劇クラブ員4人）
経費の総額・内訳概要	65,000円 （DVDマスター作成55,000円、ダビング用DVD10,000円）
成果と課題	【成果】 ・著作権もクリアし、事由に配布できるDVDができた。 ・DVD化によって、多くの人がいつでも観ることが可能 【課題】 ・BGM選定や映像処理はプロに依頼したほう適切にできる
成果物	紙芝居「飯田大火とりんご並木」DVD

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

【実践プログラム番号： 03 】※3

タイトル	紙芝居「飯田大火とりんご並木」の上演
実施月日（曜日）	10/8（金）、10/20（日）、10/21（月）、12/7（土）
実施場所	10/8 飯田東中学校、 10/20 福島県会津若松市長原仮設住宅、 10/21 福島県南相馬市高見第一仮設住宅・南相馬市立太田小学校、 12/7 飯田文化会館（飯田市安全大会）
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当者 氏 名：後藤武志 所属・役職等：飯田市危機管理・交通安全対策室防災係長
所要時間または「コマ数×単位時間」	延べ5回×上演時間23分
プログラムのカテゴリ、形式※4	10/8、10/21：8 10/20-21、12/7：1
活動目的※5	8
達成目標	紙芝居上演によって内容を理解できた人を増やす
実践方法・進め方（箇条書きまたはフロー）	○公演先との日程・場所の調整 ○上演に向けた練習 ○会場レイアウト・音響等のリハーサル ○上演
準備、使用したもの・人材・道具、材料等	○東北での公演については、日本赤十字社福島県支部に現地との調整を依頼 ○音響機材一式（ミキサー、マイク、CD、スピーカー） ○映像機材一式（パソコン、プロジェクター、CRTコード） ○東北では交流会用茶菓子、手土産の“りんご”
参加人数	10/8 紙芝居班7人・東中学校生徒216人＋教諭 10/20 赤十字奉仕団20人・仮設住宅40人 10/21 赤十字奉仕団20人・仮設住宅30人、太田小学校57人 12/7 紙芝居班7人・参加者330人
経費の総額・内訳概要	東北上演経費（全額個人負担・20人）880,068円
成果と課題	【成果】 ・飯田市民からは、わかりやすい作品だったとの好評価。 ・南相馬市立太田小学校の2年生から6年生へのアンケートから、理解できた児童の割合は74%（42/57人）。中学生向けではあったが、高い理解度を得た。りんご並木のようなことを少しは自分でも考えていきたいと68%（39/57人）が回答。 【課題】遠地での公演にかかる旅費負担
成果物	なし

※3 本報告書に掲載するプログラム数に制限はありません。また、1つのプログラムの記載ページ数、各項目の字数等の制限はありません。ただし、枠線の中に記載し、改ページ等は適宜挿入してください。

※4 別紙「記入上の留意点」の3. 項目から選択し、記入してください。（複数選択可）

※5 別紙「記入上の留意点」の4. 項目から1つ選択し、記入してください。

4. 苦勞した点・工夫した点

<p>プランの立案 と調整で 苦勞した点 工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの災害履歴から、作品化を早くしたほうが良いものの選定に悩んだ。 ○飯田東中学校の協力なしでは成り立たない企画であったため、学校側の了解を得ることが必要だった。まずは作品を観てもらうことでその後の展開に協力してもらえるよう試みた。DVDへの生徒の参加や今後の公演への生徒の参加など最終的に全面協力を得られる理想的な取り組みとなった。 ○東北の被災地の早期復興に、飯田のリンゴ並木の精神を少しでも活かしてもらおうと上演を計画した。当初はこれまで交流がある陸前高田市等を予定していたが、福島県赤十字奉仕団委員長からの強い要請で福島にて上演することになった。交流に対して不安もあったが、日赤福島県支部の調整で上演も交流も成功裏にいった。
<p>準備活動で 苦勞した点 工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○DVD用の収録にあたり、中学生とのコラボ収録は時間的な制約もある中で一緒に練習する時間も限られる中で実施した。一度作品を観ていることと、人形劇クラブ員に協力してもらったことで、短時間で良い物になった。
<p>実践に 当たって 苦勞した点 工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○メンバーはそのほとんどが農家であり、紙芝居活動時期と農繁期が重なることから、活動する日程調整等に苦勞した。 ○飯田大火について紙芝居を書くことになったが、詳しくは知らない。調べていくうちによく理解でき、すごいことだとやっとわかった。台本を作り一区切りごと絵をどうするか悩んだ。また、インパクトを考えながら20分程度にまとめるにも苦勞した。 ○それぞれが絵を分担して書くので、作風が異なってくるものを、仕上げの段階で丸みをもたせたり浮き上がらせる町にしたりと苦勞した。また、すべてのつり合いをとるための直しも2度3度と行なった。 ○当時の写真はあるものの白黒。火の燃え方、色具合、焼け跡の色使いなどどうするかも悩んだ。 ○年齢的にもコピー機の操作に大変苦勞した。台本1つとっても両面でコピーすると裏写りするなど難儀であった。 ○今まではTVドラマなどのBGMを利用してきたが、問題があることがわかったため、著作権フリーの曲のなかから選曲して活用することにした。 ○東北の被災者を対象にした公演では、懸命に生活している方々に対して上演すること事態が失礼にならないかすごく心配したが、思いのほか好意的にこの作品を観ていただくことが出来た。 ○小学生対象の公演では、わかりやすい言葉にするべきか悩んだが、あえてそのまま上演した。結果として前後の雰囲気理解することができた。子どもの理解力を育てる効果もあった。 ○災害伝承にあたって、方言の伝承についても考慮した。また、史実調査についてもあらゆる書籍等を調べたが、刊行物による差異もあり、どれを使うか悩んだ。

5. 他の団体、地域との連携

協力・連携先の分類	団体名、組織名	協力・連携の内容
学校・教育関係・ 同窓会組織	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田市教育委員会 ・飯田東中学校 ・南相馬市立太田小学校 	企画の了承、飯田東中への連絡・協力要請。 情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・公演協力、DVD 収録への生徒の参加 ・公演協力
保護者・ PTAの組織		
地域組織	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区まちづくり委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・12/7 公演時の参加協力
国・地方公共団体・ 公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田市危機管理・交通安全対策室 ・飯田市上郷公民館 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤十字奉仕団の事務局 ・活動全般にわたるアドバイス ・施設利用全額減免
企業・ 産業関連の組合等	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)コンテンツビジョン 	<ul style="list-style-type: none"> ・BGM 選曲、DVD 編集
ボランティア団体・ NPO法人・NGO 等	<ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字社福島県支部 ・喜多方市赤十字奉仕団 ・南相馬市原町赤十字奉仕団 	<ul style="list-style-type: none"> ・公演への協力、調整 ・公演協力 //
職業、職能団体・ 学術組織、学会等		

6. 成果と課題（実践したプラン全般について）

<p>成果として 得たこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田大火の史実（戦後日本で最大であること、100戸以上の大火を7回も経験）を自分たちも学べた。（鑑賞者もほとんど知らなかった） ・りんご並木誕生の秘話（誰が市と交渉したか等）を当事者から聞き取りできた。 ・りんご並木を管理している飯田東中学校での上演及びDVD収録の協力も得られた。 ・DVD制作にあたって、BGM選定にあたって著作権についても学習し、問題をクリアできた。 ・DVDを配布することによって、多くのかたに観てもらうことが出来た。 ・上演によって、中学生をはじめとした飯田市民も詳しく史実を知ることが出来た。 ・福島の被災地の皆さんにりんご並木の精神を理解してもらうことが出来た ・You-Tubeにもアップし、より多くの方に観ていただくことが出来るようにできた。
<p>全体の反省・ 感想・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のシンボルでもあるりんご並木をテーマに作品を作ることが出来て嬉しかったし、反響も大きかった。 ・より多くの人に、そして後世に語りついでいくものとして良い物が出来た。 ・チャレンジプラン以外からの助成はないため、自己資金ですべてを賄っていくことは大変。しかし個人負担が大きかった東北への公演は、内容的にも交流を深める意味でも大変有意義であった。 ・郷土にまつわる話は住民にとっても愛着があり、郷土愛を醸成できる要素である。災害伝承ではあったが地域を愛する・誇りを持つためにもこうした地道な伝承活動が大切であると感じた。こうしたことの時間的かつ人間関係の連続性が、地域の防災力やコミュニティ力を高めていくきっかけになると思われる。 ・アナログであり日本固有の“紙”芝居と、現代のDVDを併用した災害伝承の方法はそれぞれの弱点を補う形で相乗効果があった。誰にも対応できる紙媒体も大切にしながら、郷土にまつわる災害伝承を今後も継続していきたい。
<p>今後の 継続予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDを市内全小中学校に配布しているので利活用を促すほか、全校朝会などでの公演を増やしていきたい。 ・前作品「恐怖の集中豪雨」と合わせて、今後も上演していく。この作品については中学生とのコラボ公演も計画。（学校了承済み） ・次作品は「遠山郷の集中豪雨―昭和40年と平成22年の大災害―」（仮称）を予定。資料集めを開始。 ・今後は県の支援を受けて紙芝居の絵本化にも着手したい。

7. 自由記述欄 ※6

	 この紙芝居は、 防災教育チャレンジプランの支援を得て制作しました。	 飯田大火 りんご並木	
			
			
			 ● 被災世帯 202,000世帯(約90%) ● 罹災世帯 6,000世帯 ● 避難者数 17,771人 ● 死者 285名 ● 全壊世帯 147人 ● 被災世帯 15億円(約40%)
			
			
			
			

(自由記述: 1/3)



聞き取り調査状況



描画作業



飯田東中での公演



会津若松市での公演



南相馬市での公演



太田小学校での公演



飯田市安全大会での公演



中学生との DVD 収録

(自由記述: 2/3)

★紙芝居を観ての感想（アンケート自由記述意見から抜粋）

- 少しむずかしかったけど、中学生がすごいことをやると思った。あと自分が住んでいる町はゴミが道にすててあるともあるのでそれはなくしたいです。（太田小5年）
- 南相馬が平和でじしんがおきないふつうのまちになってほしいです。かみしばいのようにかじやじこがおきないおもしろい町に行きたいです。ぼくたちがそういう町にしながら大人になっていきたいです。（太田小学校3年）
- ぼくたちのところではげんぱつじこで家に帰れないけれど、かみしばいをきいてここももどおりにしたほうがいいと思いました。（太田小学校・学年不明）
- 東日本大しんさいで、大変な思いをしているので、飯田大火とりんご並木の気持ちは少しは分かります。これから私も、ひがいに強く生きていこうと思います。（太田小学校4年）
- ぼくは中学せいがりんごをうえていたところがいんしょうにのこりました。（太田小学校2年）
- 中学生が自分たちで考えたことをじっこうして市の人にてい案しているところがすごいと思った。それを自分たちでちゃんと気にかけているところもすごいと思った。（太田小学校6年）
- 飯田市には大火から立ち直った素晴らしい歴史があることがわかりました。中学生が思いを一つにして復興のためにリンゴを植えたところが印象的でした。良い考えを思いついてもそれを一緒になえようと頑張る仲間が集まるのが大切で初めて大きな力になり市を動かすことができるのだと思いました。南相馬も復興はまだですが人の心の温かさや夢をかなえることの素晴らしさ、仲間の大切さを考えながら生活していきたい。この作品は道徳の授業でも活用できると思いました。（太田小学校校長）
- そのころの中学生の発案で、その頃のことがよくわかる紙芝居だったしリンゴ並木の大切さを改めて感じることができました。60年前から地域の皆さんの支えがありこの並木があると思います。地域のかたがたに感謝しながら並木作業に取り組んでいきたいです。この紙芝居をほかの学校にも見ていただいて並木の大切さなどを知ってもらいたいです。（東中1年）
- 実際に世話をさせてもらっている私たちがさえ並木について、大火について知らないことがあってビックリした。飯田市民の方言や見やすい絵、語りかけるような読み方は鑑賞していてあきませんでした。紙芝居を見てより強く、並木を受け継いでいこうと感じた。私たち以外でも飯田市の歴史を知らない人はたくさんいると思うので多くの人に見てもらい見守ってほしいです。（東中3年）
- BGMもありりんじょう感あふれる紙芝居でとても勉強になりました。また、改めてりんご並木の歴史について学ぶことができたので良かったです（東中2年）

★アンケート集約から（飯田東中学校集計分から）

○これまでに7回も大火があったこと、戦後日本で最大の大火であったことを、紙芝居を見るまで知らなかった人・・・172人/216人（79.6%）

○紙芝居鑑賞後、そのことが理解できた人・・・207人/216人（95.8%）

A large empty rectangular box with a blue border, intended for free text entry.

(自由記述: 3/3)